

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点でもある「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校 目標】

○「人にやさしく、自ら学び続ける子の育成」～国語科を中心に、自ら考え、自分のことばで伝える子をめざして～
 ◇人にやさしく……相手の思いや考えを受け止め、共に認め合い・支え合い・学び合う土台づくり
 ◇自ら学び続ける…課題に対して自分の考えを持ち、主体的に学びを選択・調整・発信できる授業づくり

【現状と課題】

○視点1 どの学年においても学習意欲に個人差が見られ、学習内容の理解についても同様のことがいえる。
 ○視点2 望ましい生活習慣や学習習慣の定着が全体的に弱い。
 ○視点3 子どもたちの個別の課題が多様であることから、学習指導や生活指導において、担任だけではなく、組織での相談や対応が必要になる場合が多い。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「老西スタイル」(め:めあての確認、じ:自分で考える時間、と:友だちと考える時間、み:みんなで考える時間、ま:まとめの時間)の定着。	・児童アンケートによる「学ぶことが楽しい」の強い肯定率45%以上。		
	・児童アンケートによる「自分から学ぶことができている」の強い肯定率40%以上。		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○子どもが主体の協働学習「共学び」の深化。 ○ICT機器を活用した学習環境のユニバーサルデザイン化。	・児童アンケートによる「相談して考えを深めることができた」の肯定率75%以上。		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○子どもの実態を学習計画に反映。 ○子どもの見取りを複数の教員で実施。	・児童アンケートによる「学習前に比べて、よく分かるようになった」の強い肯定率60%以上。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ①「授業改善・学力向上推進部会」の定例実施(月1回程度)
- ②研究授業の実施…各学年1回(5月:5年、6月:6年、9月:4年、10月:3年、11月:2年、1月:1年 予定)
- ③校内研究だよりの発行(研究授業に準ずる)
- ④朝学習を活用した「共学びタイム」の実施(月1回)
- ⑤児童アンケートの実施と分析(年間2回…9月・2月)
- ⑥子どもを語る会、校内特別支援研修による児童理解や情報共有、通級指導教室による学習支援(定期的)
- ⑦学力向上マネージメントリーダーを中心とした「学力・学習状況調査」の結果・分析(9月)
- ⑧低学年を中心とした「MIM」の活用による語彙力の習得(4月～3月)

今年度の取組の成果と課題

--